

参加者の皆様へ ワークショップの参加にあたりお願い【事前課題】

ワークショップ【1日目 15:40～18:30】

テーマ「地域に愛される大学とは？」

本ワークショップ開催にあたり、参加者の皆様に事前にご準備いただきたいことがあります。お手数ですが、以下に説明するプログラムの内容をご理解いただき、事前課題に取り組んでください。事前課題は、大学人サミット当日に、本学にお越しいただいた際、受付で提出していただく予定です。

なお、本課題および、ワークショップについてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

＜ご用意いただくもの＞

- 7. 5センチ角の付箋紙（青色6枚と黄色6枚の計12枚）
- それぞれの付箋に以下の指示を確認し、当日記入して持参してください。

ワークショップ問合せ窓口（実行委員会事務局）

松本大学 教務課 田嶋 哲也 E-mail:tetsuya.tajima@matsu.ac.jp TEL 0263-48-7204

1、プログラム内容とワークショップ趣旨

大学を取り巻く環境は年々変化しており、これからの大学は、教職員・学生・地域が一体となり自大学のミッションを理解することが求められます。そして、地域とともに歩み、地域に根ざした大学運営が求められており、それを形にし、あるべき姿を追求していかなければならないと考えています。

今回は、「地域に愛される大学とは？」をテーマに掲げ、6つのキーワード別のグループディスカッションを行います。

ディスカッションでは、キーワードごとに各大学で実際に実施している施策や、今後実施したいと検討している施策を報告していただき、最終的に各グループで新たな施策モデルを作りあげます。その後、まとめた意見等を同じキーワードのグループ同士で発表を行い、各キーワードの代表グループを話し合いにより決定します。全体会場へ移動後、各キーワードの代表グループが全体発表を行い、最後にコメンテーターからの講評をいただきます。討議テーマは6種類（授業、大学行事、教育機関、企業、地域住民、学生活動）を準備しています。申込時に、参加したいキーワードを第3希望まで選択してください。希望を考慮し、グループ分けを行います。なお、当日参加するキーワード、およびグループは当日受付にて配布する名簿にてご確認ください。

2、グループ別キーワード

参加申込の際、以下のキーワードから第一希望順に3つを選択していただいています。

| | |
|--------|--|
| ① 授業 | 大学で行われる授業は、本来学生のために行うものですが、その授業を通じて地域と繋げることは出来ないのか？授業をキーワードに、地域に愛される大学を考えます。 |
| ② 大学行事 | 大学が行う行事や学生が自治的に行う行事等、大学では様々な行事が行われます。その大学行事をキーワードに、地域に愛される大学を考えます。 |
| ③ 教育機関 | 地域にある幼稚園、小学校、中学校、高校、大学などの教育機関との連携、そしてその教育機関の教員や生徒・児童との繋がり。教育機関をキーワードに、地域に愛される大学を考えます。 |
| ④ 企業 | 大学と企業の繋がり、まず就職ということが浮かびます。また企業と大学との連携も行われています。企業をキーワードに、「地域の企業のために」、「地域の企業と共に」など、自由な発想で地域に愛される大学を考えます。 |
| ⑤ 地域住民 | 大学がある地域の住民や、地域で行われる行事などを通じて、地域との連携が行われています。地域住民をキーワードに、「地域住民のために」、「地域住民と共に」など、自由な発想で地域に愛される大学を考えます。 |
| ⑥ 学生活動 | 学生の自治組織（学友会、学生会）や部活動・サークル・ボランティアなど。キャンパスの中心となる学生の課外活動をキーワードに、地域に愛される大学を考えます。 |

3、ワークショップの進め方

- ①参加者は、事前にグループ別キーワード毎に2種類のカード（計12枚）を用意してください。
 - ・「やっているカード」…地域に関して実際に自大学で取り組んでいる内容
 - ・「やってみたいカード」…地域に関して今後こんなことをやってみたいと思っている内容
 - ※ 参加するグループテーマで用意したカード以外（10枚）は「なるほどカード」として他グループの参考資料として活用されます。
 - ②自分が参加するグループのキーワード以外のカード（なるほどカード）は、受付時にスタッフへ渡してください（10枚）。その後、ワークショップを行う教室にキーワードごとに貼り出されます。参加するグループのキーワードのカードは、ワークショップ時にグループで使いますので、ご自身で持って行ってください。
 - ③各グループで「地域に愛される大学とは？」の大学像を考えます。「地域に愛される」という定義は、各グループで決めていただきます
 - ④その後、グループ内で意見交換した後に、最終的に各グループで「地域に愛される大学の新たな施策モデル」を考え、ホワイトボードにまとめます。
 - ⑤同じキーワードのグループ同士で発表をした後、各キーワードにおける代表グループを決定します。
 - ⑥代表グループが全体発表を行い、最後にコメンテーターから講評をいただきます。
- ※会場内に設置してある「なるほどカード」はワーク中、いつでも見に行くことができます。

4、事前課題について

ワークショップに参加される方は、6つのテーマについて「やっているカード」、「やってみたいカード」をそれぞれ6枚、計12枚を作成し、当日持参してください。

- ・「やっているカード」…実際に自大学で取り組んでいる内容
- ・「やってみたいカード」…今後こんなことをやってみたいと思っている内容

※参加するグループで使うカード以外(10枚)は、「なるほどカード」として他グループの参考資料として活用されます。

<記入の際のお願い>

- ・ 以下の通り、必要事項を記入してください。
- ・ 内容は、30字程度でわかりやすく文章にまとめてください。
- ・ 付箋の色は 「やっているカード」は青色系 「やってみたいカード」は黄色系 とします。
- ・ 付箋のサイズは縦7.5cm×横7.5cmのものをご利用ください。
- ・ 文字は黒色のマーカーで記入していただき、左上にキーワード、右下には所属（大学、企業名）と氏名を記入してください。

(記入例) ◇やっているカード（青色系の付箋）

◇やってみたいカード（黄色系の付箋）

| | |
|---|--|
| <p style="text-align: right;">やっているカード</p> <p>学生活動 ←キーワードを記入</p> <p>地域の消防団に所属し、活動をしている。</p> <p>↑ 現在、実際にやっていることを30字程度の文章で記入</p> <p>所属(大学、企業名等) → OO大学 氏名 → 松本 太郎</p> | <p style="text-align: right;">やってみたいカード</p> <p>学生活動 ←キーワードを記入</p> <p>地域の行事を学生が企画・運営を行う。</p> <p>↑ 今後やってみたいことを30字程度の文章で記入</p> <p>所属(大学、企業名等) → OO大学 氏名 → 松本 太郎</p> |
|---|--|

7.5cm

6つのキーワード(①授業、②大学行事、③教育機関、④企業、⑤地域住民、⑥学生活動)全てに対して、上記の2種類の「やっているカード」「やってみたいカード」をご用意ください。